

# 受賞先のご紹介

## 1. 産業技術部門 2席

### 産業技術賞

- 日本理化学工業株式会社 美唄工場 (美唄市)

#### 産業廃棄物を活用した環境にやさしい商品の製造

環境にやさしいSDGsと環境型社会への貢献を目指し、資源の環境的利用を目的に産業廃棄物のホタテ貝殻を活用したダストレスチョークの開発や、米ぬかから抽出する米油の精製工程で発生するライスワックスを活用したキットパスを開発した。主な製品として、ダストレスチョークは、ホタテ貝殻を原料として、貝殻を再生活用して配合した結果、「書き味、消去性、折損強度の向上」といった優れた性能が認められ、2010年に北海道と共同で特許を得ています(全国シェア70%)。また、キットパスは、原料を米ぬかから精製されたライスワックスを使用しており、子供が口に入れた場合の安全性、窓ガラス等のつつるしたところにも滑らかに発色ができ、濡れた布で拭くだけで消去できる等、安全かつ多彩な使い方が可能な商品です。先代が提唱してきた「皆働社会の実現」を目指し、特に障がい者雇用を続けながら、業界トップの業績を確立しております。美唄工場では昭和42年9月以来、延べ112名の雇用実績があり、現在も28名を雇用し、大きく地域貢献している。

### 産業技術奨励賞

- マルナカ松屋商事株式会社 (岩見沢市)

#### 農業経営の改善につながる乳酸菌の開発と商品化

令和2年4月、畑に使用される化学肥料は3割程度しか作物に吸収されず、残り7割の肥料は元々土壌中の微生物によって生成される窒素が主流との研究結果が発表されました。そこで、土壌中の微生物を増やし生産力を高める肥料の研究開発を進め、農地環境改善促進を目的とした特殊肥料を商品化しました。特長は、作物や畑、水田の残さに直接散布すると、複合乳酸菌類の働きで微生物は活性化され、その過程で有機質の分解発酵から養分が生成されるというものです。その結果、作物の根毛から養分が吸収され、投与する化学肥料を少なくする、または投与しない選択を可能とする等、農業経営の改善化に貢献した。

## 2. 文化部門 6席

### 文化賞

- 岩見沢民謡 照豊会 会主 庄司 松華 (岩見沢市)

#### 民謡文化の継承と普及

昭和61年1月、現会主の実父により、日本民謡および郷土民謡の研究保存と技術向上を図り、各会相互の親和協調ならびに会員の親睦を図ることを目的に発足された。北海道民謡連盟の各種大会や岩見沢文化連盟の行事に参加している。現会主は、三味線伴奏者の傍ら三味線の指導も行い、津軽三味線合奏団に所属し、各地の発表会・ロビーコンサートに多数出演している。会主は、平成22年から毎年、市内中学校で「伝統文化体験授業」の講師を務め、若い世代への指導を続けており、地域へ貢献している。

### 文化奨励賞2席

- 押花サークル 会長 宮木 篤江 (夕張市)

#### 押花文化の継承と普及

平成12年4月、(故)高野百合子氏の指導を受け、咲いている花で押花にする事から始め、押花を使い風景画を表現するために研鑽・習得することを目的に設立されました。現在は、作品を通して多くの方々との交流を深め、札幌・由仁・栗山町等で、発表会を実施しております。夕張市民文化祭に毎年参加して作品を発表、また夕張高校や学童クラブ、高齢者施設等で行われる押花を利用した作品作りのお手伝いをする等、市民の交流及び文化の振興に寄与して地域に貢献しております。

- 街の音楽家による小さなコンサート実行委員会 代表 高橋 司 (岩見沢市)

#### 音楽文化の活性化と振興

平成19年12月、「地域の音楽家に演奏の機会をつくと共に、音楽家が力を合わせて音楽活動を展開することにより、岩見沢市の音楽活動の活性化及び地域の音楽文化の振興・発展に資することを目的」として設立された。平成20年5月、「ピアノと声楽の夕べ」を第1回として令和5年5月までに15回(うち2回はコロナで中止)開催し、参加演奏家は延べ30名、出演総

数 121 ステージを数えております。この他に、絵画ホールへの出演 4 回、いわなびロビコンへの出演 5 回や他にも活動しております。街の音楽家たちに演奏する機会や、地域住民も音楽に触れたりする場を提供することで、地域に貢献している。

## 地域文化貢献賞 3 席

- たんの みえこ 丹野 実恵子 (由仁町)

### 華道・茶道文化の伝承

平成 15 年、自宅での茶道教室から活動範囲を広げ、茶の湯を通し、花を愛で、心身の健康を図り、明るいまちづくりを目指すため、茶道サークル「健康生活ネットワーク・茶の湯サロン」を設立されました。平成 22 年から由仁町文化祭に参加、生花作品の出品、文化祭会場で野点(のだて)を行い、多くの町民に茶の湯を体験する場を提供して好評を博している。また、平成 22 年から由仁健康元気づくり館等の町内公共施設に花を飾り、来訪する人々の癒し、心の豊かさの醸成と地域文化の振興に貢献しています。

- 藤間流さくら教室 代表 ふじま れんしょう 藤間 蓮菫 (美唄市)

### 舞踊文化の継承と普及

平成 17 年、舞踊という伝統文化の普及と発展に加えて会員や子供達に歴史と伝統を受け継いでいくために発足した団体です。現在は、文化の歴史と伝統を受け継ぎ、市教委主催の文化行事の支援、出演及び他市町村との親睦交流と結束を図る等、市民文化の向上と発展に寄与しております。創設以来 18 年間、発表会回数は 14 回を重ね、美唄文連祭・文化祭・その他に市内温泉施設・老人ホーム等で舞踊を披露しており、18 年に渡る活動は地域へ貢献している。

- むしゃこうじせんけ ほつかいどうかんきゅうかい 武者小路千家 北海道官休会 岩見沢教室 代表 遠藤 かずみ (岩見沢市)

### 茶道の継承と普及

平成 15 年 6 月、美を楽しみながら、茶の湯の世界「武者小路千家」に伝わる茶道を学び、茶の湯を通して家庭、地域、学校との連携のもと、心身ともに健康な人、まちづくりを願って設立された。総合芸術としての茶の湯にふれつつ、茶の湯の世界にある「利休居士七カ条」の教えをもとに、茶道の他に日常生活の中でもその教えを活かすように心がけながら活動をしている。平成 15 年の設立時より、毎年の初釜、旧国兼家住宅、彩花まつり、文化祭及芸術

祭などに、市民の皆様と茶の湯を楽しむ機会を提供し、岩見沢緑中学には毎月指導に出向いている。また、会員の他に地域の協力者の応援も得る等、地域の活性化に貢献しております。

### 3. 地域振興部門 4 席

#### ふるさとづくり大賞

- オムライス屋さん 喫茶タッチ 代表 うめたに 梅谷 まゆみ 眞由美 (岩見沢市)

お見合いパーティー「出会いの広場」を通じたボランティア活動による地域貢献

平成4年から、少子化問題は未婚化が原因と考え、その解消に向けて結婚を希望する人を対象に、お見合いパーティーを開催するボランティア活動の取組を開始した。平成4年から毎年4、8、11月の年3回程度「出会いの広場」を開催し、毎回数組程度のカップルを成立させている。これまで30年間に結婚したカップルは、累計101組を数え、岩見沢市内はもとより管内においても、そのボランティア活動は広く周知されており、多くの共感を得て岩見沢市のイメージアップや定住化等に大きく貢献している。

#### ふるさとづくり奨励賞2席

- 特定非営利活動法人ユニライズ 代表理事 橋本 直樹 (由仁町)

地域資源を活用したイベント等の開催による、観光推進等の活動を通じた地域貢献

平成28年7月、農村地域での暮らしや起業に関心ある地域外の住民と地域の橋渡し役を担い、地域の人や資源を活かした、交流イベント・体験プログラムを実施することで、訪れた人が地域住民と交流を深め、新たな関係性の構築や、関係人口の拡大を図る目的に「特定非営利活動法人ユニライズ」を設立した。活動の中心は、地域のキーパーソンが主体となり、具体的な事業活動は、体験の交流推進、移住・定住の推進(移住者数54名)及び人材育成・企業支援等で、地域に貢献している。

- 栗山高校女子野球後援会 会長 松原 正和 (栗山町)

栗山高校女子硬式野球部の支援活動を通じた地域貢献

令和3年7月、栗山高校の維持・存続のため、女子硬式野球部の創設を目的に栗山町、町内の有力者及び商工団体等によって設立準備委員会が設立された。令和4年春から、栗山高校の女子野球部が同好会として活動が認められ、これを契機に令和4年5月2日、栗山高校女子野球後援会として正式に設立された。具体的な事業活動は、7つの部会が構成されており、広範に亘っている。地域に根差した特色ある高校づくりとしての女子野球部活動の支援を通じて、地元町民の関心を集め、活力あるまちづくりへ貢献している。

## ふるさとづくり貢献賞1席

- 空知鉄道 代表 金森 涼介 (岩見沢市)

### ミニ鉄道の運行と維持を通じた地域貢献

平成24年12月8日、有志で子供から大人まで楽しめるミニ鉄道の製作を北村で開始し、平成27年夏に線路45mと大人二人乗りのモーターで動く電車を完成させた。令和4年7月には、線路の総延長90mまで延伸させ、別に点検整備を行う車両基地を併設している。具体的な事業活動は、平成27年5月～10月の夏期に限定して、見学者が訪れる都度試乗・公開を始め、令和4年7月以降は、地元新聞、テレビ、道内ニュースで取上げられ、見学者の増加と北村地域が注目されるきっかけになっている。現在は、混雑防止のため、インターネットによる事前予約制を取り、運営している。市内はもとより全国の幅広い方々が訪れミニ鉄道施設を楽しむ等、観光施設として岩見沢市・北村のPRに貢献している。

以上